

授業科目	心身医学特論		担当教員	添嶋 裕嗣	
展開方法	講義	単位数	2単位	開設時期	後期（集中）
【授業目標】					
心身医学の考え方と医学における役割を理解する。また、心身医療現場で見られる心身症事例を通して、その背景にある心理社会的因子を分析できるようになる。さらに、心身医療で臨床心理士に求められていることを知る。					
【授業方法】					
PowerPoint を使った講義形式であるが、臨床に関するさまざまな問題を提起して学生と討論しながら進めていく。					
【授業計画】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 心身医学と心療内科、心身症 2. 心身医学における診断と治療 3. ストレス刺激とストレス反応、社会適応 4. 臨床事例の検討①：摂食障害 1、(小テスト 1 と解答) 5. 臨床事例の検討②：摂食障害 2 6. 臨床事例の検討③：肥満症 7. 臨床事例の検討④：高血圧症、冠動脈疾患 8. 臨床事例の検討⑤：喘息、過換気症候群、(小テスト 2 と解答) 9. 臨床事例の検討⑥：過敏性腸症候群ほか 10. 臨床事例の検討⑦：慢性疼痛 11. 臨床事例の検討⑧：パニック障害 12. 臨床事例の検討⑨：気分障害、(小テスト 3 と解答) 13. 臨床事例の検討⑩：身体表現性障害 14. チーム医療における臨床心理士の役割 15. まとめ、レポート提出、(小テスト 4 と解答) 					
【評価方法】					
出席状況、授業中の質問に対する回答、討論への参加態度、レポート内容および小テストの成績を総合的に評価する。					
【教科書・参考書】					
教科書 授業毎に資料（PowerPoint の配付資料）を配る。					
参考書 久保 千春、中井 吉英、野添 新一 編集：現代心療内科学、永井書店 久保 千春 編集：心身医学標準テキスト、医学書院					
【学生に期待すること】					
授業では実際に医療現場で臨床心理士になったつもりで、問題を分析し解決策を考えて積極的に発言して欲しい。					
シラバスを参考にして講義内容に関する事項について、参考文献等により調べておくこと。講義後は、配布資料と参考書をもとに、授業内容をまとめること。					